

防災プロジェクトスタート!

3Qの新たな学びとして、4年生では「防災プロジェクト」が始まりました。「命に関わる大切なことだけれど、なかなか自分ごととして考えにくい」——そんなもやもやを抱えながらも、子どもたち一人ひとりが「自分たちができること」を見つけ、行動にうつそうとすることを大切にしています。

初回の授業では、地震災害をテーマに、実際の映像を見たり、被災経験のある先生が体験談を語ったりしました。また、子どもたち自身も「災害を経験したこと」「家族から聞いたこと」をシェアし合う時間をもちました。子どもたちの感想には、「体験したことがないから今は大丈夫だと思っていたけど、当日はパニックになってしまうかもしれない」「地震のせいで多くの人が亡くなって、悲しくなった」など、災害を“自分ごと”として考えはじめた様子が見られました。

2回目の授業では、初回に出てきた疑問を整理し、クラスごとに調べるテーマを分担しました。「どう調べるのがよいか」という問いに対しても、教師の提案にうなずくだけでなく、「このやり方の方がわかりやすいのでは?」と意見を出すなど、子どもたちの主体的な姿勢が光っています。ひとつひとつの行動に「自分たちでつくっていくプロジェクト」という意識が芽生えてきています。

今後は、各チームで調べたことを持ち寄り、学びを共有する予定です。友達の意見に耳を傾けながら、自分の考えを深め、地域の防災や命の守り方について理解を広げていけるよう支えていきたいと思います。子どもたちが責任をもって情報を集め、安心・安全な社会づくりに向けて考えを形にしていく過程を、今後も温かく見守っていただければ幸いです。





